

ハンドボール No. 5

Japan
Handball
Association

<input type="checkbox"/>	社会人
<input type="checkbox"/>	学生
<input type="checkbox"/>	高専
<input checked="" type="checkbox"/>	高体連
<input type="checkbox"/>	中体連
<input type="checkbox"/>	小学生
<input type="checkbox"/>	県協会

<input checked="" type="checkbox"/>	全国大会
<input type="checkbox"/>	ブロック大会
<input type="checkbox"/>	都道府県大会
<input type="checkbox"/>	地区大会

<input checked="" type="checkbox"/>	男子
<input type="checkbox"/>	女子

試合 番号	県営-男47
----------	--------

年月日	2021年8月21日(土)
大会名	令和3年度全国高等学校総合体育大会 福井県大会第72回日本高等学校ハンドボール選手権大会

公式記録用紙

A 山口県立徳山商工高等学校										B 中部大学春日丘高等学校											
福井県					福井市					福井県営体育館					決勝						
前半		A	B	最終結果	A	B	第1延長	A	B	第2延長	A	B	7mTC	A	B						
		16	14		31	26															
7m得点/総数		A		チームタイムアウト			チームタイムアウト			B		7m得点/総数									
		1/1		1	2	3	1	2	3	0/0											
				2724	1923		1427	2324	1145												
No.	徳山商工高校					G	W	2	D	DR	No.	春日丘高校					G	W	2	D	DR
1	吉川 嵩人										1	山崎 晴央									
3	小濱 裕司										2	近藤 佑樹					7				
4	姉ヶ山 怜					4	1				3	細野 聖太					2				
5	西田 悠										4	篠田 凧					5				
6	小野 幹太										5	万澤 良忠					10				
7	高木 俊輔					1					6	北島 健									
9	河村 琢磨										7	齋藤 峻太									
10	原田 修汰										8	浅井 康希									
11	保科 龍之介					12					9	久保 光貴									
12	上野 諒太										10	柴田 夏唯斗									
13	首藤 颯汰					3					11	石川 純也					2				
14	河村 修太					3					12	濱野 太一									
15	金岡 凌平					4					13	一野 楓矢									
16	竹下 晴日					4					14	宿院 悠平									
役員A	藤本 靖雄										役員A	山本 賢太郎									
役員B	着本純平										役員B	古木 拓矢									
役員C	中川 桜花										役員C	山口 佑樹									
役員D											役員D										

A	藤本 靖雄	チーム役員A署名	山本 賢太郎	B
---	-------	----------	--------	---

レフェリー	河合 威廷	臼井 健	河合 威廷 臼井 健
TD	仲野 数也	城戸 佑太	仲野 数也 城戸 佑太
MO	多田 和生		多田 和生

得点(G), 警告(W), 退場(2), 失格(D), 報告書付き失格(DR) 特記事項に報告書として内容を記入

ハンドボール NO.7

令和3年度全国高等学校総合体育大会
高松宮記念杯第72回全日本高等学校ハンドボール選手権大会

戦評

開催日	2021年 8月 21日 土曜
会場	福井県営体育館
種別	男子
回戦	決勝

スコア	チーム名	総得点	前半	総得点	チーム名
	スコア	徳山商工	31	16-14	26
後半					
15-12					
第1延長			第2延長		7MC
—			—		—
—			—		—

※第1延長・第2延長及び7MCの得点は総得点に加算してください。

戦評	前半	男子決勝は春日丘のスローオフでスタート。先取点は徳山商工、15番の金岡の積極的なDFからボールを奪い得点すると、11番の保科もそれに続き3連続得点でスタートダッシュに成功した。対する春日丘は焦らずセットDFを守り切ると5番の万澤が連続得点でチームを奮い立たせた。すると1番山崎が好セーブで応え徐々に立ち直りはじめる。前半10分を5-4と1点リードの徳山商工、13番の首藤がしなやかなフォームからシュートを放つと一気に点差を広げる。苦しい状態が続くも春日丘の3番細野のシュートが唸りをあげる。しかし徳山商工、4番の姉ヶ山も負けじと豪腕を見せつけた。終盤、春日丘は2番近藤のキレのあるフェイントなど5連続得点で猛攻を見せたが16-14徳山商工の2点リードで前半を終えた。
	後半	後半に入ると落ち着きを取り戻した徳山商工、13番の首藤が先制攻撃を浴びせると連続得点。加えて12番上野も気迫のセーブを見せた。このままでは終われない春日丘、2番近藤のシュートで得点し好機を待つも徳山商工はさらに勢いを加速させる。11番保科、16番竹下の勇猛果敢なOFは今日も健在で隙を見れば突破されてしまう状態に春日丘は手を焼いた。気持ちが切れかける時もあった春日丘だが山本監督が選手を奮い立たせる。山本監督の想いを受け止め静かに闘志を燃やす4番篠田が冷静にゲームメイクをし、じわじわと徳山商工を追いかける。後半18分で26-22、4点のリードがある徳山商工だが機能し始めた春日丘のDFに苦戦するもチーム一丸となって攻め続けた。最後まで走り続けた春日丘だが及ばず徳山商工が31-26で勝利し日本一の称号をつかみ取った。

記入者	丹羽 柊真
-----	-------